

会議結果報告書

会議名称	第9回札幌市子どもの権利条例検討会議
日時・会場	平成19年12月22日(土) 14:00~17:15 S T V北2条ビル6階1~3号会議室
出席委員	11人出席(1人欠席)
次回開催	平成19年1月16日(水) 18:30~ S T V北2条ビル6階1~3号会議室

議題	概要等
1. 開会	<p>事務局から資料の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「資料4」として、「子ども委員会」、「子ども議会」の子どもたちからの子どもにとって利用しやすい制度に関するアンケート調査結果を配付している。計42人から回答が寄せられたので、参考にさせていただきたい。
2. 救済制度についての検討	<p>子どもとの意見交換の感想について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談することを親には言いたくないなどの声が聞かれたので、児童会館等を活用して相談できるようにすべきだと感じた。また、相談したことでからかわれる可能性があるという意見があったことから、調査員等の専門性が重要になると感じた。 ・小学生、中高生とも、率直に意見を出してくれた。想像以上に、親にはなかなか話せないという現状があると感じた。 ・何気ない話の中から、少しずつ本当の悩みが出てくるという意見もあったことから、やはり、相談の間口は広くすることが大切であると感じた。 ・相談機関のPR方法について、様々な意見が出された。ウィズユーカードへのデザインなど参考になるのではないかな。 ・子どもが接する大人は、親、学校の先生、塾の先生など限定的である。子どもたちは、自分と年の近い人が、さりげないところで自分を支えてくれているとうことを求めているのではないかな。 <p>相談員の年齢や性別等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの意見の中では、特に、若い世代の人や保健室の先生を想定していることが印象的であった。また、年齢、性別とも、多様な意見であったので、年齢については色々な世代が、性別については男性、女性が両方いるようにすべきであろう。 ・ソフトなイメージで話を聞いてくれて、子どもたちが話しやすいように意見を引き出してくれる相談員が求められているのではないかな。 ・相談の間口を広げるならば、同年代に近い世代が相談に応じることも考えられるのではないかな。将来に向けて、検討の余地はあると感じた。 <p>相談の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの意見を踏まえると、電話やメールとともに、面接相談も外せない。子どもが、市内中心部まで出てくることは難しいこともあるので、相談員の方が、地域や児童会館に出向いて相談を受けることも考えるべきである。 ・メール相談については、迅速に対応することの難しさ等から否定的な見解もあるかと思うが、子どもたちの意見を踏まえると、例えば、相談へ

	<p>の橋渡しの役割として、メール相談を位置づけることも意義はあるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨今、メールはかなり普及している。単なるつなぎにとどまることなく、その手段をあらかじめ用意しておくことで、相談が可能になるケースもあることを認識する必要がある。 ・ 携帯電話のメールについては、我々が望むサイトにアクセスしてくれば良いが、悪意の相談に入り込んでしまう危険性があるなど、負の影響も考えられる。特に、中学生段階では時期尚早のようにも感じる。 ・ 携帯電話を使用することの悪影響も認識したうえで、やはり、メールも含めて、幅広い相談媒体を確保しておく必要があるだろう。 <p>相談の日時について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの意見を踏まえると、24時間対応は無理としても、平日以外の休日にも、相談を受けることを考えたほうが良いのではないかと。実現は可能であろうか。 ・ (事務局) 確たることは答えられないが、そのことが答申に盛り込まれた場合には、その方向で検討する余地はある。 ・ 検討会議として、相談日時に関しては、土曜、日曜、祝日も含めて考えることを基本にしていきたい。 <p>相談の場所、雰囲気等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談の対象について、できるだけ裾野を広げて考えるのであれば、相談員をどれだけ確保できるかということとともに、必要に応じて、出向き相談などの実施も検討していく必要があるだろう。 ・ 子どもにとって近所にあるということだけではなく、色々な手法で対応できる道を探っていくべきである。 <p>その他子どもにとって利用しやすい制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの意見のなかで、広報を大に行ってほしいという意見が出された。札幌市の交通局や教育委員会などのノウハウを活用し、様々な手法を用いて、継続的に見ることができるような手法を検討すべきである。例えば、携帯電話のバーコード機能の利用なども考えられるのではないかと。 ・ 費用がかかる方法、かからない方法など様々あるだろうが、いずれにしても、広報は積極的に行うことが必要であることを答申に盛り込むべきであろう。
3 . 閉会	<p>次回以降の検討会議の日程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第10回検討会議の日程 <ul style="list-style-type: none"> 日時：平成19年1月16日(水)18時30分～ 場所：S T V北2条ビル1～3号会議室